

会 議 録

会 議 名	令和2年度第2回東浦町景観審議会	
開 催 日 時	令和3年3月22日（月） 午後3時30分から午後4時30分	
開 催 場 所	東浦町役場 西会議室1	
出 席 者	委 員	小松尚委員 石原弘幸委員 片山貴視委員
	事務局	神谷町長、篠田副町長、水野建設部長、山本建設部技監 川瀬都市計画課長、竹内都市計画係長、森主査、鈴木主事
議 題 (公開又は非公開の別)	東浦町ぶどう畑の自然色ネット購入補助金交付要綱(案)について（公開）	
傍聴者の数	5名	
議 論 内 容 (概 要)	議題の議論内容については、別紙のとおり	
備 考		

議題【東浦町ぶどう畑の自然色ネット購入補助金交付要綱(案)について】資料1、2
事務局：

1 本日の会議の根拠、これまでの経緯、東浦町ぶどう畑の自然色ネット購入補助金（以下、「自然色ネット補助金」という。）交付要綱(案)について説明

(1) 本日の会議の根拠：東浦町景観条例第20条(助成)

(2) これまでの経緯について

平成25年度：景観計画策定ワークショップ及び景観住民アンケートの実施

平成26年度：ぶどう畑の景観に関する意見交換会

平成28年度：東浦町景観計画策定（「森岡のぶどう畑の景観」を景観形成重点区域候補地区の一つとした）

平成30年度：住民の方と町長との住民懇談会

令和元年度：町内のぶどう園を視察

令和2年度：東浦森岡ぶどう組合の代表者の方々と意見交換
自然色ネット補助制度について具体的に検討(参考事例：山梨県甲州市)

景観まちづくり委員会においても自然色ネット補助金について検討

(3) 自然色ネット補助金について

ア 要綱の目的

・短期

ぶどう畑のネットが自然色になることで、各ぶどう畑が周囲に馴染み、中のぶどう畑が目に入りやすくなる。また、農家さんの経営を少しであるが応援する

・中期

自然色ネットが、広がっていくことで各ぶどう畑が連なり、魅力的な田園景観を形成していく

・長期

魅力ある農業景観により観光客を引きつけ、魅力的な景観だけでなく、農業の活性化を景観面から応援する

(※ただし、中期・長期の目的は、農業施策とその他の景観施策を共に行っていく必要がある)

イ 要綱の概要

・趣旨

ぶどう畑に東浦町の良好な景観の形成に寄与する自然色ネットを設置しようとする者に対して交付するもの

事務局：	<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象者 自然色ネット（黒色、茶色等のぶどうの生産に使用するネット）を新品で購入する者（オークション、フリーマーケットその他町長が適当でないとする取引による購入を除く。） 自然色ネットを町内のぶどう畑（ぶどうを生産していると町長が認める畑に限る。）に設置した者 ・補助対象経費 補助金の対象となる経費は、自然色ネットの購入費用のうち、実際に自然色ネットを設置した面積分に係るものとする ・補助金の額等 補助対象経費に2分の1を乗じて得た額（その額が3万円を超える場合は3万円を限度） 予算の範囲内において交付 補助金の交付は、同一年度において、1世帯かつ一体となつてぶどうを生産していると町長が認めるぶどう畑につき1回限りとする
ウ	<ul style="list-style-type: none"> 自然色ネットの色彩及び補助額等の根拠について ・自然色ネットについて（黒系・茶系） 一般的に流通しているネットは、青や緑等の彩度が高いものが多いが、自然色ネットは黒色のものが流通していると調査した ・金額について 防風ネットや鳥よけネット等の目的により仕様が異なり、また流通状況により金額が異なることを調査し、おおよその設置規模を検討して決定した ・令和3年度当初予算について 上限3万円/件×8件=24万円/年
エ	<ul style="list-style-type: none"> 今後について ・令和3年3月24日（水）令和3年度第1回東浦町議会定例会（討論・採決）「令和3年度当初予算」 ・令和3年4月1日以降 要綱施行（目標） ・自然色ネット補助金をぶどう農家さんに周知していく ・当該補助制度以外に、どのような取組みの可能性があるか、内部だけでなく、農家さんとの対話・意見交換を続けていく
会	<p>長： 経緯及び自然色ネット補助金(案)について説明があった。委員からご意見ご質問いただきたい。</p>
委	<p>員： 景観計画では森岡ぶどう畑以外の地区についても景観形成重点区域候補地区としているが、なぜ森岡のぶどう畑から先行的に取り組むのか。森岡ぶどう畑以外の地区についても今後取り組む予定はあるのか。</p>

事務局： 共感を得て進めていくという観点からぶどう農家やまちづくり委員会での議論を得て先行的に取り組むこととした。

以前は明德寺川周辺地区について取り組みを進めていたが、この地区は川や沿道サービス等の様々な要素があるため補助する項目や目的が分かりにくい。

ぶどう畑については、農家さんと少しずつ対話をしているなかで、費用対効果も考え先行的に進めることとした。

緒川の屋敷及び生路の郷中については、大学の調査協力もいただいているが具体的に取り組んでいる状況にない。

委員： ぶどうは東浦町を代表する産業であるがぶどう狩りも減っている。このような状況のなかで今回の補助金により活性化につながると良い。

委員： 税金を使うことなので、具体的な効果についてどのように考えているのか。例えば、山梨県甲州市の事例のガードレール等のペンキについては視線誘導等の安全面を考えないといけない。

事務局： 流通としては青色ネットが多いことを調査している。黒系ネットにしてネット自体ではなく中のぶどう畑に視線が向くようにすることで、農作物等が主役に見えると考え。また田園景観として、つながりのある景観となることを期待している。

3万円の補助額でどの程度、実績が伸びるかは実行してみないと分からない部分はあるが効果があると考えている。

委員： まずは実行して、その後、臨機応変に対応していくのも良い。

委員： 山梨県甲州市の事例があるが、東浦町と甲州市の異なる部分について東浦町の特徴として工夫した点はあるか。

事務局： 甲州市は、自然色ネットの色彩についてダークブラウンやグレー系を示しているが、本町は過去の経緯や流通状況から黒系とした。

また、ペンキ等についても検討したが、柵や直売所には様々な種類があり、現時点では何が景観に好ましいか判断しにくいいため、面積があり効果が大きいと思われるネットの補助に取り組むこととした。

委員： 補助金交付申請の手続きについて、あまりに手間がかかるものであると利用しにくい制度になる。例えば、補助制度を知らずに交付申請前にネットを購入する場合も考えられるが購入後でも趣旨に適合していれば補助対象とする等についての対応はどうか。

せっかくの制度が上手く利用されないこともあるのではないかと。

事務局： 補助金の交付申請における手間について、例えば前年度に購入したものの等は補助金申請の対象外になる。このため、購入前に手続きをお願いしたい。

農家さんに周知を徹底し取り組んでいきたい。

- 委員： 山梨県甲州市の補助上限額が3万円であり、東浦町も3万円としているがどの程度の面積を想定しているのか。3万円の根拠は何か。
また、自然色ネット補助金要綱(案)に、一世帯かつ一体となつてぶどうを生産していると記載があるがその意図は何か。
- 事務局： 3万円の根拠については、補助額の上限が3万円であるため実際には6万円分の購入費用となる。ネットの種類や購入場所により金額は異なるが、6万円分であれば購入可能面積として600㎡～1,000㎡となると考えている。
また、側面や上部等、ネットで囲う部分により設置可能な面積は異なる。
あくまでも全てを補助するのではなく一部に補助をして自然色ネットを使うきっかけにさせていただきたいと考えている。
ネットは概ね5～10年で取り替えると聞いている。老朽化に伴う取り替えや破れ等による取り替えもある。一度に全てのネットを取り替えるわけではなく、部分的に補修する場合もあると考える。
一世帯かつ一体となつてぶどうを生産しているという点については、多くの農家さんに補助制度を利用させていただきたいため、一つのぶどう畑に補助金の交付が偏らないよう公平に利用させていただきたいため、このような取り決めとしたい。
景観に取り組んでいただくきっかけづくりとしたい。
- 委員： 予算を超えた申請があった場合の対応はどう考えているのか。
- 事務局： 予算の範囲内としているが、補正予算等も検討する。
- 会長： ネットの色彩については黒系茶系としているが、ネットの支柱等についてはどのような考えか。
- 事務局： 現状では支柱の色彩については問わない。
- 会長： 自然色ネット補助金要綱(案)に新品で購入するとあるが、購入場所について町内事業者からの購入等の制限はあるのか。
- 事務局： 購入場所については、町外店舗等でも良い。
- 会長： その他にご意見ご質問等がないようなので、自然色ネット補助金要綱(案)について、特に大きな問題はなく案のとおり進めることとして良いか。
- 委員： 良い。(全会一致)
- 会長： 続いて、その他について事務局からお願いします。
- 事務局： 1 第1回景観審議会開催後の景観まちづくり委員会の開催についての報告
(1) 令和2年度第2回東浦町景観まちづくり委員会 (R2. 11. 18 開催)
議題「現状報告及び今後の取り組みについて」

内容

- ・景観アドバイザー制度の運用方法の検討
- ・ぶどう畑の景観の取り組みに係る自然色ネット購入補助金の検討
- ・共感プロジェクトについて
- ・景観反対署名者の方との意見交換会の検討

(2) 令和2年度第3回東浦町景観まちづくり委員会 (R3. 2. 20 開催)
議題「第1部 景観まちづくりについての意見交換」
「第2部 現況報告等について」

内容

- 事務局： 「景観条例及び景観計画の廃止を求める署名活動(令和元年12月)」
を展開された代表者の方々との意見交換
- ・自然色ネット購入補助金交付要綱(素案)について
 - ・東浦町公共施設景観ガイドライン(案)について
- 2 今後の景観審議会の開催について
定期的を開催し報告するとともに、良好な景観の形成に関する事項
について調査及び審議が必要な際に開催したいと考えている。

事務局： 以上で本日の会議を終了します。ありがとうございました。